

世界情勢と主の回復に関する時機を得た言葉: #5: 神の召しに答えて彼の時代の手段、すなわち彼の勝利者となって、時代を転換させる 8/17-23 **OL Summary: I.** 神は、時代の行動、時代を転換させる行動を持つるときはいつも、時代の手段を得なければなりません。私たちは神に対して、時代の価値のある人とならなければなりません: **A.** 私たちは、自分の行なっている事を考慮して、次の時代をもたらす必要があります。これは特別な時です。ですから、特別なクリスチャンたちが特別な働きを行なう必要があります。 **B.** 主の回復の原則は、ダニエル(「神は私の裁き主」、ハナニヤ(「ヤハは恵み深く与えた」、あるいは「ヤハの恩恵を受ける」)、ミシャエル(「だれが神のようであるか?」)、アザリヤ(「ヤハは助けた」)に見られます。「ダニエルとその仲間」は、絶対的に神と一であり、サタンの企みに勝利しました。彼らは、神の民の捕囚の時代を、彼らがインマヌエルの地へと帰還する時代へと転換させました。それは、神の家と神の都を建造して、神に表現と権威を得させるためです: 神の目に、勝利者は「尊ばれる人」、さらには「尊さそのもの」でさえあり、神が時代を転換させるために用いることのできる人です/唯一の勝利者は私たちの霊の中に住んでおり、私たちが彼の勝利者にならせます。 **C.** 主は時代を転換させる人を起こして、神の表現と権威を回復する必要があります。墮落した人類の間では、神の表現は破壊されており、神の権威は否まれています。ダニエルとその仲間は、真に自分たちを通して神が表現されるようにし、また真に神の権威の下にとどまりました。 **II.** ダニエルは仲間を持っており、彼らと共に彼は神に対して絶対的に献身しており、またサタンに従う時代から神へと分離されていました: **A.** 時代を転換させるために神が用いる人たちはみな、ナジル人でなければなりません。すなわち、自発的に献身した人であり、絶対的に、また徹底的に神へと聖別されています。 **B.** ダニエルとその仲間はまだとても若かったのですが、反対の証しとして立ち上がりました。 **III.** ダニエルは、神の言を通して神の願いへと結び付きました: **A.** ダニエルは、神の言を定期的に読む人であっただけでなく、神の言へと結び付いている人でした: ダニエルは、神がイスラエル人のために捕囚の七十年を定めていることと、七十年の後に神が戻って来てイスラエル人を祝福することとを、エレミヤ書から読み取った時、直ちに断食して祈りました。 **B.** 私たちは祈りの霊と雰囲気の中で神の言を読み、神の言から神の願いに触れなければなりません。それから、私たちは直ちにその願いへと結び付かなければなりません。聖書は私たちの生活に影響を与えるべきであり、私たちは聖書へと結び付くべきです。 **IV.** ダニエルは、祈りの人であり、優れた霊を持っていました。彼は天の王国(天の支配)の実際の中で、神の支配の下で生きました: **A.** ダニエル6章の中心は、神のエコノミーを遂行するための人の祈りです。人の祈りはレールのようなものであり、神の行動が前進するための道を整えます。祈りによる以外に、神のエコノミーを満たし、成就させる道はありません。これはこの章の内なる秘訣です。 **B.** 神と協力する人の最高の表現は、祈りです。神は、彼の忠信な祈りの経路を通して、地上で神のエコノミーを遂行します。 **C.** 祈りは、主の回復の生命線(ライフライン)です。サタンが私たちの祈りを妨げようとすればするほど、私たちはますます祈るべきです: 彼は祈りに依り頼んで、人が理解することができない事を理解しました/ダニエルは祈りました、「私たちの神

よ、今、あなたのしもべの祈りと嘆願を聞いて、主のために、荒れ果てたあなたの聖なる所の上に、あなたの御顔を輝かせてください」。 **V.** ダニエルは、自分を犠牲にする人であり、殉教者の霊を持っていました: **A.** ダニエルの仲間たちは、真の殉教者の霊を持っていました。彼らは命の代価をもって、唯一の神としての主のために立ち、偶像礼拝に抵抗し、ネブカデネザルの命令によって、火の燃える炉に投げ込まれました。 **B.** ダニエルは、生命の危険を冒してまで祈りました。大臣や太守たちの意図は、ダニエルを滅ぼすことでしたが、彼らの背後にいたサタンの意図は、神が彼のエコノミーを遂行するために用いていた祈りの経路を断ち切ることでした。 **C.** 時代を転換させるために神が用いる人はみな、ただ一つの事を恐れます。すなわち、神に違犯し、神の臨在を失うことを恐れます。 **VI.** 私たちが今日の勝利者となって、神の時代の手段として、時代を転換させるためには、時を贖い取らなければなりません。コロサイ4:5は、「時を贖い取りなさい」と言っており、エペソ5:16も、「時を贖い取りなさい」と言っています: **A.** 私たちはこの二つの節を「機会を贖い取りなさい」と訳すこともできます。私たち、主に仕えることを学んでいる人は、私たちがかしらの指示に鈍感で、彼の導きに無感覚であるという感覚を、かしらに持たせてはなりません。私たちは主に私たちの霊的感覚と霊的視力を訓練していただいて、機会がやって来る時はいつでもそれを感じ取り、それらを最大限に活用しなければなりません。 **B.** 主が私たちのために定めている日々の中で、おそらく昨日は私たちの生活の中で最も大いなる日であるべきでしたが、私たちは昨日通常の方法で生きたかもしれませぬ。これが機会を失うことの意味です。私たちに神の案配がない日は一日たりともありません。 **C.** 主は私たちに、主にとって非常に有用な人となる可能性を秘めた人を尋ね求めるようにという考えを与えたかもしれませぬ。しかし、その日私たちは行きませんでした。なぜなら、天候があまりにも暑いのを私たちはいやがったからであり、また私たちがあまりにも怠惰であったからです。 **D.** ある日、私たちは主にまみえるでしょう。今私たちに満足を与えている私たちの生活の事柄を、私たちはおそらく悔いるでしょう。多くの時、私たちは神のみこころに達しておらず、愚かに振る舞ってきました。私たちは忠信にキリストを生きず、キリストを成長させず、キリストを表現せず、あらゆる面でキリストを増殖させず、彼のからだを建造してきませんでした。 **E.** ダニエル11:32は言います、「自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます」。これは、神の民が新しい地を開拓することを意味します。私たちは神のみこころを知れば知るほど、ますます機会をとらえるでしょう。神を知る人たちは、決して日ごとに習慣的に生きないでしょう。 **F.** 「私たちは、神が常受(ウイットネス)兄弟の働きを祝福されたのを見てきました。彼の長所は、彼はどんな機会も過ぎ去らせないことです。彼が機会を失うのを見いだすことはできません。いったん機会があると、彼はそれを利用します」。 **G.** もし私たちの奉仕が神のみこころにしたがっているなら、一日は多くの日と等しくなるでしょう。しかし、神のみこころの外で過ごした日は勘定されません。神の王国の外で、神に雇われる人はいません。ネブカデネザルは自分の働きに満足していました。これはバビロンの原則です。 **H.** しかしながら、主に感謝します。彼は私たちに慰めの言葉を与えてくださいました。それは、ヨエル2:25の言葉です。いなご

が食べた年は、私たちに償い戻されます。もし私たちが自分の日々を無駄にするなら、十年は一日と等しくなるでしょう。しかし、もし私たちが時を贖い取るなら、一日は十年と等しくなるでしょう。『詩篇90:12は言います、「私たちに自分の日々を数えることを教えて、知恵の心を得させてください」。84:10は言います、「あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまします」。天の日々は、二十四時間で数えられません。神は日々を数える別の方法を持っています。VII. 今日、バイタルになる道は、主の召しに答えて勝利者になることです。勝利者はバイタルな人です。バイタルな人(生き生きとしていて活動している人)は、祈る人です：A 私たちが新しいグループを形成する意図は、勝利者のグループを得ることです。こういうわけで、このグループは「バイタルグループ」と呼ばれているのです。全時間訓練も、勝利者を生み出すためにあります。すなわち、彼らは必死になって、サルデスの死に打ち勝ち、ラオデキヤのなまぬるさに打ち勝ち、ぶどうの木とその枝に関して述べられているヨハネ15章の主によって対処された実を結ばないことに打ち勝つ者たちです。B 私たちはバイタルになるつもりなら、主と緊密で、親密で、徹底的な交わりを持つ必要があります。また追い求める心のある聖徒たちとも緊密で、親密で、徹底的な交わりを持つ必要があります。私たちは主の導きの下で、共に労苦することのできる何人かの仲間と接触する必要があります。それは、ダニエルが三人の仲間を持っていたようにです。C 今日の召会生活(エルサレムで予表される)の中で、私たちは主の勝利者(シオンで予表される)でなければなりません。これが、主の召しにしたがって、勝利者の時代にいることです。召会生活の中にいるのは一つの事です。召会生活の中で勝利者であるのは別の事です。D 私たちは勝利者、バイタルな人になるという決意をしなければなりません。勝利者は、キリストに置き換わるあらゆるものや、キリストに反対するあらゆるものに勝利を得る者です。VIII 私たちは今日の勝利者として、イッサカルの子たちのように、「時を知っていて、イスラエルが何をなすべきかを知っている人々」であるべきです。次のページのリー兄弟の適用における経験を見てください。煙台の復興の前夜、日本人が中国に侵入してきて、中国人のすでづらい生活をさらにつらくした時、リー兄弟は彼の個人的な手記に以下の内容を書きました：1942年12月4日の夜、煙台において地上の人々は災難に苦しんでおり、諸召会は困難の中にあります。これは神の心の願いの時代ではなく、神の手続きの時代です。神は彼の手続きを用いて、彼の心の願いに到達しつつあります。手続きの時代から神の心の願いの時代に転換するために、人は時代を転換させる祈りをしなければなりません。ダニエルはそのような人でした。地上が災難に苦しんでいるのは、地上の人々が神を欲しておらず、神の事を顧みていないからです。ですから、もし聖徒たちが祈って、災難の時を終わらせたいなら、聖徒たちは神の要求に応じ、神と神の必要を顧みなければなりません。おお! 今日のこれら多くの災難は、私たちを目覚めさせて、もはや地に対して生きることがないようにさせるべきです! おお! 今日、私たちは真に自分自身をささげて、召会のために神の要求に応じるべきです。

CP1:ダニエルは自発的に献身し、偶像に捧げられた食物を食べて汚されることを拒否した。献身を更新し、今日のダニエルとなり、時代を転換させるために祈る

ダニエル1:8 ところが、ダニエルは王のえり抜きの食物や王が飲むぶどう酒で自分を汚すまいと心に定めたので、宦官の長に、自分を汚させないようにと求めた。OL1:神は、時代の行動、時代を転換させる行動を持つとするときにはいつも、時代の手段を得なければなりません。私たちは神に対して、時代の価値のある人とならなければなりません。OL2:神の目に、勝利者は「尊ばれる人」、さらには「尊さそのもの」でさえあり、神が時代を転換させるために用いることのできる人です。OL3:ダニエルは仲間を持っており、彼らと共に彼は神に対して絶対的に献身しており、またサタンに従う時代から神へと分離されていました。OL4:時代を転換させるために神が用いる人たちはみな、ナジル人でなければなりません。OL5:ダニエルとその仲間はまだまだとても若かったのですが、反対の証しとして立ち上がりました。

ダニエルは人々が享受し、誇るものをすべて拒絶しました。彼は人にこの世の地位を示すものをすべて拒絶しました。彼は自発的に献身した者でした。少しばかりの霊的な追求や、少しばかりの主の御前での敬虔な生活は、主が時代を転換させるのに用いるのに十分ではありません。主に用いられて時代を転換させる人たちはみな、ナジル人でなければなりません。彼らは自発的に献身した人たちです。…[自発的な献身とは]地上の他のすべての人がこの世を追い求め、この世を享受している時に、私はそれから自分を分離することを意味します。…聖書は、当時、バビロンの王が一群れの若者をさまざまな種族から選んで、自分の前に立たせたことを記録しています。選ばれる機会は、夢のまた夢でした。なぜなら、王は彼らに良い食物と飲み物を三年間与え、肉体において美しく肥えるようにして、宮殿で彼の前に立つようにさせるからです。…しかしダニエルと彼の三人の仲間は誓願を立てて言いました、「私たちはそのような機会を捨てます。私たちはここで食物と飲み物を享受するつもりはありません。私たちは他の人たちと同じようになることはできません。私たちは別の立場を取らなければなりません。他の人たちは神を持っておらず、神のためでもありませんが、私たちは神のためです」。…彼らはこのように神を表現しました。なぜなら、彼らは自分たちを神の権威に服従させたからです。全地は神の権威を否定していましたが、彼らは神の権威を承認していました。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

神が時代を転換させる時に用いる器は若者です。当時、バビロンの王が一群れの若者をさまざまな種族から選んで、自分の前に立たせました。選ばれる機会は、夢のまた夢でした。しかし、ダニエルと三人の友人たちはこの機会を価値のあるものとは見なさず、放棄しました。しかし、ダニエルは最終的に、王によって最高の地位に置かれました。ダニエル6:1 ダリヨスは、王国に百二十人の太守を立てて、全王国に及ぶのをよとした。2 そして、彼らの上に三人の大臣を置いて(ダニエルはその一人であった)、太守たちが彼らに報告を出し王が損失を受けないようにした。3 このダニエルは、大臣や太守の間で際立って優れていた。それは、彼の中に優れた霊があったからである。王は彼を全国の上に立てて治めさせようと考えた。…28 このダニエルは、ダリヨスの統治とペルシャ人クロスの統治の時に栄えた。

あなたは自分の前途を神のエコノミーに捧げ、この世の前途を断つ必要があります。このような人を神は尊ばれます。なぜなら神はあなたを、時代を転換させる器として用いることができるためです。そうすれば、あなたはダニエルのように高く引き上げられるでしょう。これは必ずしもあなたが会社で出世することを意味するものではありませんが、主があなたに定めた方法であなたは引き上げられます。

例えば、あなたがこの世を愛して、残業や飲み会などの付き合いに参加しなければ、「干されてしまう」と考え、熱心にあらゆる機会を捉えて参加します。これは神に信頼せず、上司等の人に信頼することです。このような場合、あなたの保護は主ではないので、主はあなたを引き上げることはできません。ところが、あなたが主に信頼し、主を自分の保護として取り、「飲み会の付き合いが悪いと出世できないのであれば、出世よりも集会に参加することを選びます」と言うなら、主はあなたを顧みることができます。あなたはこれらのことで主に対してごまかさず、正直になることができますように！あなたが若い時に、主に自分を捧げて、主の中で、主と共に、主によって、主のために生きることを決心することができますように！

祈り：「おお主イエスよ、ダニエルのようにこの世の人々が誇るものを拒絶して、自分自身を主に捧げることができますように。私は自分や人に信頼するのではなく、主に信頼します。ビジネスや研究において主が私の保護となってくださることを感謝します。パートナーと共に自発的にナジル人の献身をし、時代を転換させるため、すなわち主の再来をもたらすために祈ります。アーメン！」

CP2: 霊的に鋭敏な感覚を持ち、機会を捉えるため、御言葉を読み、御言葉と結び付いて祈る

ダニエル9:2-3 彼の統治の第一年に、私、ダニエルは、預言者エレミヤに臨んだエホバの言葉、すなわち文書によって、エルサレムの荒廃の満了の年数は、七十年であることを理解した。そこで、私は顔を主なる神に向けて求め、断食と荒布と灰をもって祈り、また嘆願した。エペソ5:15-16 あなたがたはどのように歩くか、よくよく注意しなさい。賢くない者のようではなく、賢い者のように歩き、今の日々は邪悪ですから、時を贖い取りなさい。コロサイ4:5 外部の人々に対して知恵の中を歩き、時を贖い取りなさい。OL1:ダニエルは、神の言を通して神の願いへと結び付きました。OL2:祈りは、主の回復の生命線(ライフライン)です。サタンが私たちの祈りを妨げようとすればするほど、私たちはますます祈るべきです。OL3:ダニエルは、神の御前で生きている人でした。彼は祈りに依り頼んで、人ができない事を行ないました。彼は祈りに依り頼んで、人が理解することができない事を理解しました。OL4:時代を転換させるために神が用いる人はみな、ただ一つの事を恐れます。すなわち、神に違犯し、神の臨在を失うことを恐れます。OL5:私たちが今日の勝利者となって、神の時代の手段として、時代を転換させるためには、時を贖い取らなければなりません。

ダニエルの[第二の特徴]は、彼が神の言を定期的に読む人であっただけでなく、神の言へと結び付いている人であつたということです。…ダニエルは、神がイスラエル人のために捕囚の七十年を定めていることと、

七十年の後に神が戻って来てイスラエル人を祝福することとを、エレミヤ書から読み取った時、直ちに断食して祈りました。…ダニエルはレビ記を読んだ後、汚れた食物をもちや食べることができませんでした。彼はエレミヤ書を読んだ後、神の民の復興のために断食して祈らずにはいませんでした。

もし私たちが霊的に敏感であれば、私たちは機会を感じ取るでしょう。…霊的な訓練があれば、私たちは、機会が私たちの道にやってくる時に、それらを見極めることができるようになります。私たちは、機会が去って行くのを許すことができません。私たちは、かしらからのどんな指示にも鈍感であってはなりません。私たちがかしらの導きに無感覚であるという感覚を、かしらに持たせてはなりません。私たちはこのために必死でなければなりません。

ある日、私たちは主にまみえるでしょう。今私たちに満足を与えている私たちの生活の事柄を、私たちはおそらく悔いるでしょう。私たちは神のみこころに達していません。私たちは忠信ではありませんでした。私たちは愚かに振る舞ってきました。主は私たちの前に十の機会を置いてこられたかもしれません。しかし、私たちはその一つに手を付けたことすらありません。

適用: 青少年・大学生及び新人編

日本の若者たちは、無意識に聖書を自国の伝統とは異なる、単なる新しい道理や教理と考える傾向があります。聖書を単なる教理の書として考えると、聖書を読んでも、聖書はその人の生活に何も影響しません。救われた後何十年経っても、相変わらず古い人の生活習慣に従って生きています。

ダニエルはレビ記を読んで、偶像に捧げられた汚れた食物を食べて汚されることを拒否しました。ダニエルは御言葉を聞き、御言葉を自分の生活に結び付け、御言葉について祈り、生活において御言葉を実行しました。時を贖うとは、御言葉を祈り読みし、キリストを享受して、キリストで満たされ、御言葉を実行することです。ダニエルはイスラエルの捕囚の期間が70年であることをエレミヤ書から知りました。ダニエルはイスラエルの民のエルサレムへの帰還と宮の再建の難易度を考慮せず、ただ主の御言葉を信じました。

あなたは日本人が救われ、召会生活に留まり残る実になることの難易度を考慮しないでください。ただ御言葉を信じて、王国の福音を伝えて下さい。人の目から見ると、当時イスラエルの民の帰還と宮の再建は120%あり得ない事でしたが、それは起こりました。

エズラ1:1 ペルシャの王クロスの第一年に、エレミヤの口によるエホバの言葉が成就するために、エホバがペルシャの王クロスの霊を奮い立たせたので、王は彼の王国全体に布告を発し、またそれを文書にして言った、2「ペルシャの王クロスはこう言う、『エホバ・天の神は、地のすべての王国を私に賜った。彼は私に、ユダにあるエルサレムで彼に家を建てるように命じられた。』

例えば、学生の兄弟姉妹は、主を信じる人は少ないので主を証しし、福音を伝えることは難しいと考えて不信仰に陥ってしまうかもしれません。このような時、ダニエル書のダニエルと三人の友人の証しを読み、それに結び付いて祈ってください。そうすればあなたは強められ、福音を宣べ伝えることができるようになります。

祈り:「おお主イエスよ、聖書は神の息吹かれたものであり、教理の本ではなく、真理、實際を伝達します。ダニエルは御言葉を読んだ後、それを祈り、生活に結び付けることで、時を贖い時代を転換させることができました。私も時間を贖い、御言葉を読み、信仰と混ぜ合わせて祈り、学生生活の中で適用します。私は反対を恐れず、主を証しする学生生活を送る新しい時代を開拓します」。

CP3: 祈りにより必死になって、主の召しに答えて、勝利者、バイタルな人、生き生きと活動する人になる

OL1: ダニエル 11:32 「自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます」。これは、神の民が新しい地を開拓することを意味します。私たちは神のみこころを知れば知るほど、ますます機会をとらえるでしょう。神を知る人たちは、決して日ごとに習慣的に生きないでしょう。

OL2: いなごが食べた年は、私たちに償い戻されます。もし私たちが自分の日々を無駄にするなら、十年は一日と等しくなるでしょう。しかし、もし私たちが時を贖い取るなら、一日は十年と等しくなるでしょう。**詩 84:10 まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。OL3: 今日、バイタルになる道は、主の召しに答えて勝利者になることです。勝利者はバイタルな人です。バイタルな人(生き生きとしていて活動している人)は、祈る人です。**

毎回私は[失った日々]のことを考えると、悲しくなり、耐えられない思いになります。しかしながら、失望の中で慰めを与えてくださる主に、なおも感謝します。「群がるいなご…が食べた年を、私はあなたがたに償い戻す(ヨエル2:25)」。主に感謝します。彼にはなおも道があります。

私たちはバイタルグループの実行を必死になって遂行しなければなりません。私たちは実を与えてくださるように、不毛を取り除いてくださるように、主に向かって必死に祈るべきです。これは、私たちにとって死活問題であるはずですが、もし私たちが必死であるなら、魚が私たちにやって来ると、私は信じます。主が魚を私たちに送られるでしょう。しかし、もし私たちが無関心であるなら、一匹も魚は来ないでしょう。

今日、二つの道が私たちの前にあります。私たちは、バイタルになる道を選ぶことも、バイタルにならない道を選ぶこともできます。…あなたはどちらの道を取りますか? 私たちはバイタルになりますか、それともなりませんか? 私たちは決意しなければなりません。**士師記 5:15**でデボラは言いました、「**ルベンの支族の間では、心に大きな決意があった**」。私たちは勝利者、バイタルな人になるという決意をしなければなりません。

地上の人々は災難に苦しんでおり、諸召会は困難の中にあります。これは神の心の願いの時代ではなく、神の手続きの時代です。…手続きの時代から神の心の願いの時代に転換するために、人は時代を転換させる祈りをしなければなりません。ダニエルはそのような人でした。…もし聖徒たちが祈って、災難の時を終わらせたいなら、聖徒たちは神の要求に応じ、神と神の必要を顧みなければなりません。おお! 今日のこれら多くの災難は、私たちを目覚めさせて、もはや地に対して生きることがないようにさせるべきです!

適用: 奉仕者編

あなたは一人の新約の福音の祭司(奉仕者)として機会を捉えることを学んでください。古い人の習慣によ

て生きていると、人を訪問したり、路上福音に出て行ったりすることが、おっくうになります。また、緊急の必要や急激な変化に対応することもできません。例えば、コロナウイルスの経済への影響で、アメリカは2020年Q2(第二四半期)32.9%減、EUは40.0%減、日本は13.8%減でした。日本はその影響が現時点では欧米に比べ半分以下ですが、消費大国である欧米の影響はこれからポディブローのように更に日本経済に打撃を与えることになるでしょう。これはコロナウイルスの影響による世界経済の急激な減速です。これにより年末から来年にかけて、収入が平均で約10~20%減るでしょう。

多くの優れた企業は、これを機に本質的に大切なものと大切ではあっても付属的なものを見極めようとしています。あなたはダニエルのように優れた霊を持って祈りの中で、Crucial PointsとSecondary Points(二次的な点)を識別して、急激な変化に対応する力を付けるべきです。

あなたの人生のCrucial Points、本質的な必要は、召会生活です。召会生活がなければ、あなたの人生の歴史に神聖な歴史がありません。あなたの人生は召会生活の中で、神聖な歴史の中で祝福され、守られることができます。

姉妹の証し: 私は2011年3月11日の東日本大震災の後、3月末に台湾全時間訓練に派遣され、神戸に来て2ヶ月間の福音開展に参加しました。多くの日本人が救われました。兄弟姉妹との福音の取り組みと交わりをとっても享受したので、主は私に訓練後神戸に来て救われた新人を顧みる負担を与えて下さいました。6月に訓練を卒業し、7月に3ヶ月の観光ビザで何も分からないまま日本に来ました。日本に来た時は、ビザを取得するために、大学院に進学する予定でしたが、実は日本語はほぼ全くできませんでした。決まっていたことは、神戸での召会生活と福音と牧養をすることだけで、その他は何も決まっていませんでした。今考えると、何も決まっていなかったのですが、一番重要なもの、召会生活は決まっていたので、主が導いてくださったのだと思います。KIC大学院の研究生について教授との面接では、日本語での会話が全くできなかったのですが、姉妹(現在の義母)に通訳してもらいました。通常はこのようなことはあり得ないのですが、主は教授に私について好意を得させてくださったのでこの事が受け入れられ、結局研究生として受け入れられました。約1年後受験に合格し、更に大変競争率の高い優れた奨学金を取得することもできました。この奨学金は例年、神戸大医学部や他の学部の留学生、また関学の留学生などが取得しており、KICでは、過去取得した前例がありませんでしたので、KICの先生方も大変驚き、喜んでくれました。その後の就職と結婚も主に導かれました。主は私を召会生活の中で、私の中の神聖な歴史の中ですべての事を導いてくださいました。ハレルヤ! 主に感謝します!

祈り:「おお主イエスよ、困難な環境や急激な変化があっても、私の人生のCrucial Pointは召会生活です。今日の状況の中で私は神の要求に応じ、神と神の必要を顧みる決意をし、主の中でバイタルな人になります。主イエスよ、私を目覚めさせてください。神のエコノミーのために、キリストのからだを建造して主の再来をもたらすために祈り、労苦します。アーメン!」